

年 組 名前：

問1

やまなしがくいんしょ
山梨学院小が、しゃかいかだい かいかつ む
社会課題の解決に向けきぎょう
「起業プランコンクール」をひら りょう こた
開いた理由を答えてください。

社会課題解決へ起業案

山梨学院小5年生 18チーム競う



小学生がビジネスプランのアイデアを競ったコンクール
＝甲府・山梨学院小



QRコード
から動画を
見られます

山本 昂輝
桑原久美子

同校は新しい価値を生み出す力を育てようと、社会課題からビジネスアイデアを構想するアントレプレナーシップ教育に取り組んでいる。5年生75人は9月から、学生時代に起業した戸田達昭ヴィジョナリーパワー社長の出前授業を受けるなどして起業について学び、18チームに分かれて起業プランを練つてきた。コンクールでは、吉澤屋本店の高野孫左エ門社長や山梨中央銀行の古屋賀章頭取らが

た。

最高賞の金賞に選ばれたのは、規格外野菜を使ったレストランを提案した「ボディ・カインド・レストラン」(飯島花さん、土屋アヤメさん、倉戸杏さん、小野蒼海さん)。給食の食べ残しなどから「野菜嫌い」「食品ロス」という身近な課題に着目し、食べやすい野菜レシピを実際に作るなど具体的に構想到了などを評価された。審査委員長を務めた高野社長は、「今日の経験を生かし、これから自分はどう生きたいかを思い描き、実現していくってほしい」と激励した。

問2

きんじょう えら
金賞に選ばれたプランは、かだい
どのような課題から、こうそう
どのように構想して、ていあん
なにを提案しましたか。かだい
課題：

(2025年11月5日付 山梨日日新聞15面)

こうそう
構想：ていあん
提案：

問3 いま、あなたが気になっている社会課題(問題)を答えてください。